

熊本県立八代中学校 令和6年度(2024年度)学校評価計画表(案)

<p>1 学校教育目標</p> <p>「令和6年度(2024年度)県立中学校・高等学校における教育指導の重点」及び「学校安全・安心推進課取組の重点」を基盤として本校の綱領である</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「誠実にして真理を愛する」 To love truth, being sincere. ・「自律を旨として協和を重んずる」 To respect harmony, being self-determined. ・「闊達にして進取の氣象を尚ぶ」 To develop a spirit of enterprise, being broad-minded. <p>を教育理念の根底におき、生徒の知性と品性、豊かな感性と闊達な行動力を育むとともにグローバルな視野を切り拓く教育を実践する。</p>

<p>2 本年度の重点目標</p> <p>八代高校・八代中学校のさらなる魅力化</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 確かな学力の土台となる授業力の向上(学びの深化) ② 豊かな人間性を育む多様な教育活動(自律と協働) ③ 世界とつながるグローバル人材の育成(進路の進化) ④ 地域との連携(高い情報発信力) ⑤ 生徒理解の促進(一日1人面談)

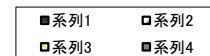
3 自己評価総括表						
評価項目		評価の観点	具体的目標	具体的方策	評価	成果と課題
大項目	小項目					
学校経営	グローバル人材育成	◇グローバルマインド並びにグローバルスキルを身に付けるための基礎力養成	○言語運用能力の伸長とグローバルマインドを養うことを目的とし、学校設定教科を効果的に実施する。 ○各種ボランティア活動への自主的参加者年間延べ150名以上を目指す。	・NIE、ディベート、ビブリオバトル、ソーシャル・スキル・トレーニングなどの活動を充実させ、言語活用能力やグローバルマインドの伸長を図る。 ・生徒全員にグローバルアクション通信を配付するとともに、HPにおいて通信を公開し、情報発信を行う。	B	・各学期で「知の触発講演会」を実施した。講師から体育器具やドローンを寄贈いただいた。課題は、実施回数の吟味と講師確保である。 ・グローバルアクション通信をR7.1月現在で12回発行し、生徒に対して各種イベントやボランティアの周知した。ボランティア活動への自主的参加者は年間延べ130名。課題は、様々な部署でのボランティア参加者を正確に把握することである。
	情報発信	◇職員情報発信力の向上、並びに八代中学校への志願者増加	○本校の教育活動や生徒の様子等をタイムリー、かつ、継続的に発信し、本校の魅力を伝える。 ○「対話力」の授業の様子をホームページにアップする。 ○本校志願者数140名以上 ○学校説明会参加者200名以上(保護者含む)	・「対話力」の授業の計画及び内容について、他教科との関連を意識し、より効果的に実施できるよう、見直し、検討を行う。 ・ピアサポートや知の触発講演会の様子をタイムリーにホームページにアップする。 ・学校説明会の内容(授業参観、模擬授業、概要説明等)を工夫し、参加者にとって魅力的な内容となるようにする。また、十分な周知期間を取る。	B	・R6.4月から12月までのホームページ記事掲載数は193件(R5同期間は74件)。対話力や総合的な学習の時間、行事等の情報をタイムリーに発信できた。 ・本校志願者数は110名、受検倍率は1.57倍であった。学校説明会や周知活動の内容をよりよいものにしていく必要がある。 ・2回行った学校説明会参加者の合計は320名(保護者含む)であった。授業体験や生徒が率先して動く様子が参加者から好評であった。学校説明会の実施回数について検討が必要である。
	業務改善及び働き方改革の推進	◇勤務時間の適正管理 ◇業務の削減・効率化	○月の時間外在校等時間平均を前年度比で5ポイント削減する。 ○校務においてICTをこれまで以上に活用し、配付資料や会議資料のペーパーレス化を進めたり、専門家を有効活用し、計画的に業務を遂行する。	・タイムカード等による勤務時間の適正管理等に加え、各分掌部部長による業務進捗管理や面談を行う。 ・ゆうネットやGoogleアプリを活用した情報共有を推進し、業務効率化を進める。 ・SC、SSW、部活動指導員等の専門的人材を積極的に活用する。	A	・タイムカード等により在校時間を把握し、長時間勤務が認められる教職員には管理職による面談を実施して状況を把握し、必要に応じて業務の再配分を行った。 ・月の時間外在校等時間平均(4月～12月)は、昨年度48時間39分から今年度43時間39分になり、前年度比10.3%減少となった。 ・SCの活用については12月までに23件、SSWの活用については3件の相談等があった。 ・部活動指導員を2人配置しており、生徒の技術の向上や教職員の負担軽減に成果を上げている。

学力向上	教師の指導力向上	◇主体的・対話的で深い学びの視点、ICT活用学力の3要素を踏まえた授業改善	○生徒による授業評価において各教科の主体的・対話的で深い学び、ICT活用、学力の3要素を踏まえた授業実践についての肯定的評価が85%を超える。	・授業力向上のため、公開授業週間の設定、各種研修会への参加やスーパーティーチャアの指導を仰ぐ機会を提供する。 ・生徒による授業評価を年2回実施する。 ・ICT活用や主体的・対話的で深い学びに取り組んだ授業を、各教科で常時実施する。	A	・公開授業週間を年に2回設け、教科毎に研究授業を行った。 ・各学期毎に授業評価を行い、ICTの活用が3.42、授業に集中できているの項目が3.51であり、目標を達成することができた。
	生徒の自発的な学習の促進	◇予習→授業→復習のサイクルの確立及び教科等の学習の統合、転用、活用の促進	○学年ごとの目標学習時間を設定し、60%以上の生徒が目標を達成する。	・毎日宅習時間調査を実施して家庭学習、読書等の指導に活用する。	B	・朝の振り返りシートを用いた家庭学習時間の調査を行った。目標時間に届いていない生徒の方が多数であるため、入力の徹底も含めて、生徒への声かけなどが必要である。
キャリア教育(進路指導)	進路目標の明確化と大学入試に対応できる学力を育む指導	◇6年間を見通す進路指導グラウンドデザインの完遂	○大学進学を希望する生徒に求められる基礎学力や学びに向かう姿勢を育成する。 ○6年間の指導方針を意識した授業の実践と時代の変化に応じた改善を各教科で取り組む。	・学力推移調査結果をもとに学力検討会を行い、課題点や進路意識の共通理解を図り、教科指導や進路指導に反映させる。 ・様々な自己研鑽や社会貢献活動を通して自己の進路を考えるための情報提供を行う。	A	・学力検討会を2回(中1は1回)開催し、生徒の学力実態について教科間で情報交換し、共通理解を図った。 ・1学年は熊本県立大学を、2学年は熊本大学発生医学研究所を訪問した。2学年は2日間のインターシップを実施した。3学年はグローバルアカデミックリサーチを実施し、進路を考える機会を提供した。
	生徒の進路観、職業観の育成	◇ポートフォリオ形式(「キャリアパスポート」)で個人の活動体験記録データの蓄積	○社会と関わり、社会の内包する様々な課題に気づかせ、将来の学びに触れる機会を提供する。	・他の部署と協力して各種の体験活動や講演会などを実施し、参加を促す。 ・ポートフォリオ形式によるデータ管理指導としてキャリアパスポートを活用し、自己の進路意識を確認する場を設ける。	B	・全学年の生徒を対象にグローバルアクションミーティングを企画し、高校生と一緒に大学生活や職業について話を聞く機会を設けたが、参加者が限定的なのが課題である。 ・研修や講演会の記録をキャリアパスポートに蓄積した。
生徒指導	自由と規律に基づく自律的な行動	◇きまり・心得遵守 ◇観察と情報共有 ◇率先垂範	○5分前行動、挨拶の励行、服装・頭髪の整備を自ら行うことができる生徒を育成する。 ○生徒情報の共有及び学校からの情報発信を行う。	・朝の登校指導を利用し、服装の整美、時間厳守、挨拶を指導していく。 ・教員同士及び教員と保護者との情報交換を密に行う。	B	・学級担任を中心に登校後の様子・表情や体調確認等を実施し、生徒の状況把握に努めた。整容面や行動などで気になる生徒については、学年毎の朝の打合せで情報を共有し、迅速な対応を図った。また、定期的な中学部会において気になる生徒について情報交換を行い、生徒理解に努めた。
	生徒の危機管理能力の向上	◇登下校時の緊急事態への対応 ◇SNS等の不適切な使用法への対応	○交通マナーを遵守し、登下校時における交通事故の防止に努める。 ○登下校時の不審者事案などに対して適切な対応ができるようにする。 ○「ネット依存」や、不正請求などの「ネット被害」、SNSによるトラブルなどへ適切な対応ができるようにする。	○被害者・加害者にならないために交通事故に関する情報提供を行う。 ○防犯メール等を確認する習慣を身につけさせ、自分の身は自分で守ることを意識させる。 ○適切にICTを活用し、情報社会を安心・安全に生き抜くため情報を生徒・保護者へ提供する。	B	・大きな交通事故はないが、車や自転車同士の軽微な接触事故があった。長期休業前の諸注意で交通ルール遵守を注意喚起した。 ・ネットを介しての重大な事故・被害はなかったが、友人同士の軽微なトラブルが続いている。長期休業に入る前に注意喚起を行ったが、SNSの不適切な使用は今後も続くことが懸念されるため継続した指導が必要である。

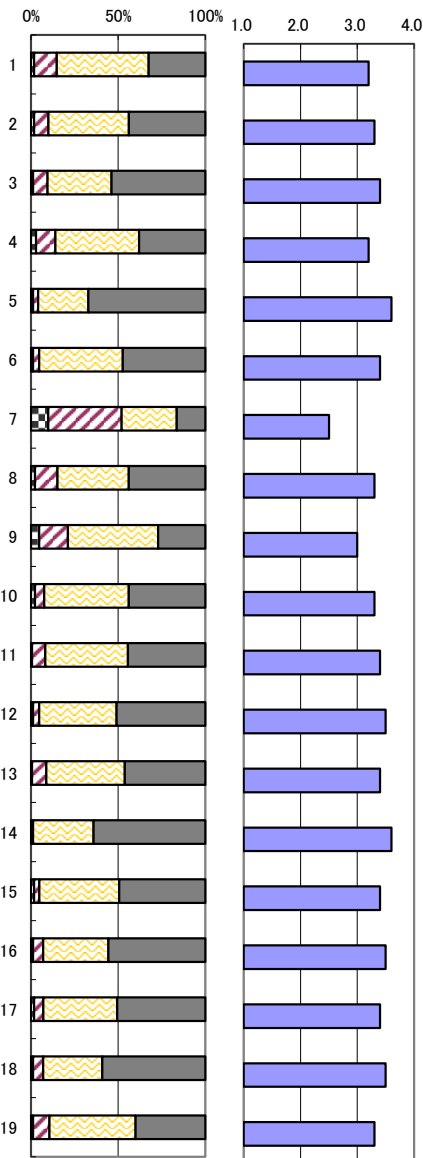
人権教育の推進	人権問題の正しい認識と差別をなくす実践力の育成	<p>◇地域の人権課題の実状を踏まえた人権意識の向上</p> <p>◇人権問題に関わる実践力を高めるための中高一貫6年間を見通した各学年の目標設定と取組</p>	<p>○部落差別をはじめ、あらゆる差別の解消に取り組む生徒を育成する。</p> <p>○職員一人一人が人権問題に関する基本的認識を確立し、人権教育を推進する。</p>	<p>・人権部落問題学習(学年ごとに学期1回)及び校内人権集会(2回)を実施するとともに、地域の子ども人権集会への参加を呼びかける。</p> <p>・八代地区人権同和教育・人権啓発研究集会(原則全員)及び現地研修会(新転任者及び希望者)に参加する。</p> <p>・人権教育通信を学期2回以上発行し、啓発を図る。</p>	<p>A</p> <p>・人権部落問題学習を各学年で実施し、水俣病をめぐる人権問題や男女共同参画のあり方、部落差別の歴史等について学習し、生徒の人権意識の向上を図った。また、人権集会では、水俣病問題に関して深く学び、基本的な事実を再確認するとともに、問題の本質を自らの生き方と重ね考える場となった。</p> <p>・八代市の研究集会や、本校独自企画の現地研修会に参加し、部落問題に関して改めて学び直すとともに、自らの実践を振り返った。</p> <p>・人権教育通信を年間8回発行し、人権に関する啓発に努めた。</p>
	生徒が適切な教育上の支援を受けられる体制の整備	<p>◇個々の多様性(障がいの有無や性別の違いなど)を認識してお互いを支え合い、すべての生徒が生き生きとした学校生活を送るための取組</p>	<p>○支援を要する生徒の実態把握と共通理解に努める。</p> <p>○個別の教育支援計画及び指導計画を立てるとともに、予防的な指導及び支援の充実を図る。</p>	<p>・教育相談週間を設け、丁寧に生徒の状況を把握するとともに、授業時や学校生活の中でのきめ細やかな観察を通じた情報収集をもとに、生徒理解研修を年3回実施する。</p> <p>・定期的に入権教育部会を開催し、情報共有を図るとともに、特別支援教育委員会を適宜開催する。</p> <p>・個別の教育支援計画及び指導計画を立て、それに基づき支援を進める。</p>	<p>A</p> <p>・学期ごとに生徒理解研修を開催し、生徒の情報を共有し、共通理解を持って生徒の支援を図った。</p> <p>・教育相談週間や学年会、人権教育推進部会において生徒の情報交換を密に行い、支援状況の把握や教育支援計画の見直しに努めた。</p> <p>・特別支援教育委員会を適宜開催し、対象生徒に関して熟議し、支援計画を作成に基づいて保護者と連携して合理的な配慮を行った。</p>
	命を大切にすることを育む指導	<p>◇自他の生命を尊び、大切にしていこうとする態度の養成</p> <p>◇自らの在り方生き方を学び、夢や目標の実現に向けて努力する態度の育成</p>	<p>○すべての教員が学習活動において生徒の人権感覚を育む指導を行う。</p> <p>○社会貢献活動や自己研鑽活動をおし、生命や自然に対する畏敬の念を高める。</p>	<p>・自らの教科において人権教育と関連する学習内容を確認するとともに、人権感覚を高める学習指導を行う。</p> <p>・ボランティア活動や自己研鑽活動への積極的な参加を促す。</p>	<p>A</p> <p>・職員研修において、各自の人権問題に関する実践を交流し、日常的に部落差別をはじめとする人権感覚の向上に努め、人権意識を持ってすべての教育活動を行う重要性を改めて確認できた。</p> <p>・生徒自治会と連携して人権集会を開催し、「安心・安全」な学校づくりを訴えるとともに、人権意識の重要性を認識した。</p>
いじめの防止	<p>いじめの予防と発生した際の早期発見と対応</p> <p>◇いじめを未然に防ぐための予防的取組</p> <p>◇いじめの早期発見と早期対応</p>	<p>○日常の授業や面談を通して生徒の状況を的確に把握する。</p> <p>○定期的なアンケート調査により、いじめの早期発見に努める。</p>	<p>・学期に1回「心のアンケート」を実施し、いじめの防止・早期発見に努めるとともに、必要に応じていじめ防止対策小委員会を開催して情報共有と対応を話し合う。</p> <p>・学期に1回いじめ防止対策委員会を開催し、スクールカウンセラーや関係機関との連携を図り、実態把握と対応策を協議する。</p>	<p>A</p> <p>・日常的な二者面談をはじめ、学期に1回行う心のアンケートや教育相談週間において、生徒の実態把握を丁寧に実施した。いじめ問題の早期解決のためにいじめ防止対策小委員会等を行い、個別の問題に迅速に対応した。</p> <p>・いじめ防止対策委員会を学期に1回開催し、アンケートの集計と各学年・各部署の取組を共有し、いじめの防止と対策に努めた。また、スクールカウンセラーや関係機関と連携し支援体制の構築を図った。</p>	
地域連携(コミュニティ・スクールなど)	<p>◇地域とともにある学校づくり</p>	<p>○学校運営協議会を通して、育成を目指す生徒像の共有を図り、地域と連携・協働した取組を推進する。</p>	<p>・「総合的な学習の時間」において、地域と連携した探究活動を実施する。</p>	<p>A</p> <p>・地域の史跡巡りや地域でのフィールドワーク、地域の方を講師として招きお話を聞くなどの取り組みを行い、地域振興を目標に探究活動を行った。</p> <p>・学校運営協議会において市役所防災課担当からの説明を踏まえ、本校周辺地域の特徴を踏まえた防災のあり方を協議した。3学期には引き渡し訓練を実施する。</p>	

令和6年度 学校評価 集計表 <生徒>(中学校)

① 全く当て はまらない (1点)	② あまり当て はまらない (2点)	③ やや当て はまる (3点)	④ よく当て はまる (4点)	回 答 数	平 均	R 5 平 均
----------------------------	-----------------------------	--------------------------	--------------------------	-------------	--------	------------------

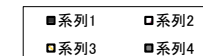


① 知の触発プログラム、ビブリオバトル、英検対策等の取組は、言語能力を伸ばすのに役立っている。	1.8	13.0	52.7	32.5	169	3.2	3.3
② 学校では、ボランティアや社会貢献活動などの体験的活動への参加の紹介が行われている。	1.8	8.2	46.2	43.9	171	3.3	3.2
③ 八代中には、他の学校にはない校風・特色がある。	1.2	8.3	36.7	53.8	169	3.4	3.4
④ 本校の教育活動や生徒の様子等を、学校ホームページやClassroomなどでタイムリーに発信し、本校の魅力を伝えている。	2.9	11.1	48.0	38.0	171	3.2	3.0
⑤ 学校では、生徒同士で学び合う場面の設定や、積極的にICTを活用した授業が行われている。	1.2	2.9	28.8	67.1	170	3.6	3.6
⑥ 学校では、生徒の学力を伸ばす様々な工夫を行って来ている。	1.2	3.5	48.0	47.4	171	3.4	3.3
⑦ 私は、目標とする家庭学習時間を確保できている。	9.9	42.1	31.6	16.4	171	2.5	2.7
⑧ 学校では、総合的な学習の時間や学活などで、自らの進路を考える活動が行われている。	2.3	12.9	40.9	43.9	171	3.3	3.3
⑨ 学校では、進路に関する情報をわかりやすく提供してくれる。	4.7	16.5	51.8	27.1	170	3.0	3.0
⑩ 学校では、先生方の共通理解のもと、不公平感のない生徒指導が行われている。	2.3	5.3	48.5	43.9	171	3.3	3.2
⑪ 私は、日頃から服装の整美、時間厳守、挨拶を心がけている。	0.6	7.6	47.4	44.4	171	3.4	3.4
⑫ 学校では、交通安全についての啓発活動が行われている。	1.2	3.5	44.4	50.9	171	3.5	3.4
⑬ 学校では、情報モラルについて学ぶ機会がある。	0.6	8.2	45.0	46.2	171	3.4	3.4
⑭ 学校では、人権の大切さについて学ぶ機会がある。	0.0	1.2	34.7	64.1	170	3.6	3.6
⑮ 先生方は、生徒の悩みや相談に親身になって応じてくれる。	1.8	3.0	45.8	49.4	168	3.4	3.3
⑯ 学校では、命の大切さについて学ぶ機会がある。	1.2	5.8	37.4	55.6	171	3.5	3.5
⑰ 学校でのさまざまな活動において、いじめを防止する取組や配慮がなされている。	1.8	5.3	42.4	50.6	170	3.4	3.4
⑱ 総合的な学習の時間等において、地域に目を向けた探究活動が行われている。	1.2	5.8	33.9	59.1	171	3.5	3.3
⑲ 学校では、防災について学ぶ機会があり、また、防災避難訓練が実施されている。	1.2	9.4	49.4	40.0	170	3.3	3.3

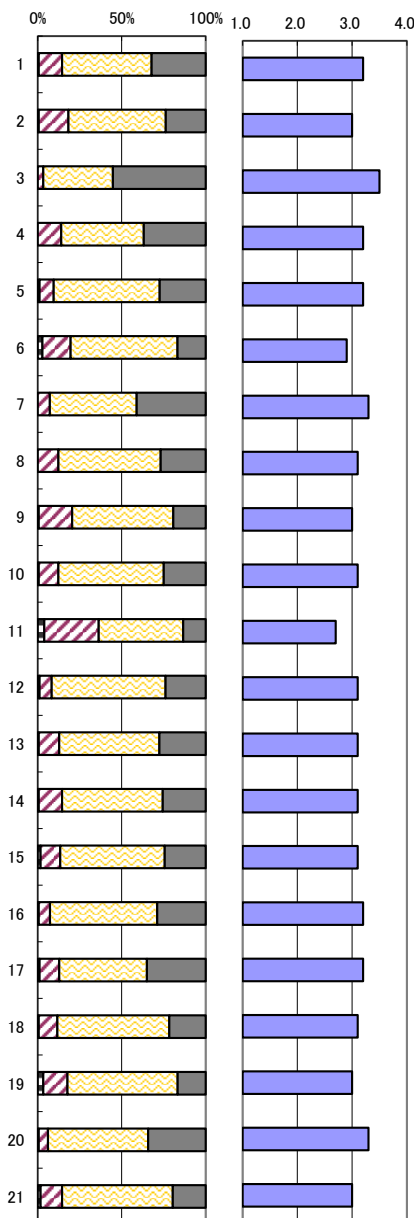


令和6年度 学校評価 集計表 <保護者>(中学校)

① 全く当て はまらない (1点)	② あまり当て はまらない (2点)	③ やや当て はまる (3点)	④ よく当て はまる (4点)	回 答 数	平 均	R 5 平 均
----------------------------	-----------------------------	--------------------------	--------------------------	-------------	--------	------------------

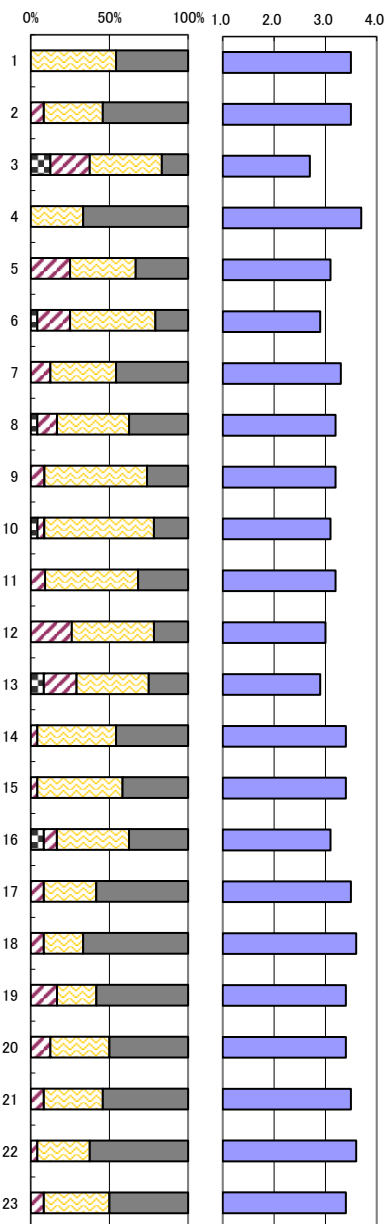
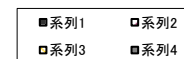


① 知の触発プログラム、ビブリオバトル、英検対策等の取組は、言語能力を伸ばすのに役立っている。	0.6	13.9	53.3	32.2	180	3.2	3.0
② 学校では、ボランティアや社会貢献活動などの体験的活動への参加の紹介が行われている。	0.6	17.7	58.0	23.8	181	3.0	3.0
③ 八代中には、他の学校にはない校風・特色がある。	0.0	3.3	41.4	55.2	181	3.5	3.3
④ 本校の教育活動や生徒の様子等を、学校ホームページやClassroomなどでタイムリーに発信し、本校の魅力を伝えている。	0.0	14.0	49.2	36.9	179	3.2	2.8
⑤ 学校では、生徒同士で学び合う場面の設定や、積極的にICTを活用した授業が行われている。	1.1	8.4	63.1	27.4	179	3.2	2.8
⑥ 学校では、生徒の学力を伸ばす様々な工夫を行っている。	2.8	16.8	63.7	16.8	179	2.9	2.7
⑦ 私は、目標とする家庭学習時間を確保できている。	0.0	7.2	51.7	41.1	180	3.3	3.1
⑧ 学校では、総合的な学習の時間や学活などで、自らの進路を考える活動が行われている。	0.0	12.3	60.9	26.8	179	3.1	3.0
⑨ 学校では、進路に関する情報をわかりやすく提供してくれる。	0.6	19.9	60.2	19.3	181	3.0	2.8
⑩ 学校では、先生方の共通理解のもと、不公平感のない生徒指導が行われている。	0.6	11.7	62.8	25.0	180	3.1	3.0
⑪ 私は、日頃から服装の整美、時間厳守、挨拶を心がけている。	3.9	32.4	50.3	13.4	179	2.7	2.5
⑫ 学校では、交通安全についての啓発活動が行われている。	1.1	7.2	67.8	23.9	180	3.1	3.0
⑬ 学校では、情報モラルについて学ぶ機会がある。	0.6	12.2	59.7	27.6	181	3.1	3.1
⑭ 学校では、人権の大切さについて学ぶ機会がある。	0.6	13.9	60.0	25.6	180	3.1	2.8
⑮ 先生方は、生徒の悩みや相談に親身になって応じてくれる。	1.7	11.7	62.2	24.4	180	3.1	3.0
⑯ 学校では、命の大切さについて学ぶ機会がある。	0.6	6.7	63.9	28.9	180	3.2	3.0
⑰ 学校でのさまざまな活動において、いじめを防止する取組や配慮がなされている。	1.1	11.7	52.2	35.0	180	3.2	2.9
⑱ 総合的な学習の時間等において、地域に目を向けた探究活動が行われている。	0.6	11.1	66.7	21.7	180	3.1	2.9
⑲ 学校では、防災について学ぶ機会があり、また、防災避難訓練が実施されている。	3.3	14.4	65.6	16.7	180	3.0	2.9
⑳ 総合的な学習の時間等において、地域に目を向けた探究活動が行われている。	0.6	5.5	59.7	34.3	181	3.3	3.1
㉑ 学校では、防災避難訓練や防災について学ぶ機会がある。	1.7	12.8	65.9	19.6	179	3.0	2.9



令和6年度 学校評価 集計表 <教職員>(中学校)

	① 全く当て はまらない (1点)	② あまり当て はまらない(2 点)	③ やや当ては まる (3点)	④ よく当て はまる (4点)	回 答 数	平 均	R 5 平 均
① 知の触発プログラム、ビブリオバトル、英検対策等の取組は、言語能力を伸ばすのに役立っている。	0.0	0.0	54.2	45.8	24	3.5	3.3
② 学校は、ボランティアや社会貢献活動などの体験的活動への参加の紹介を行っている。	0.0	8.3	37.5	54.2	24	3.5	3.3
③ 中高一貫教育校としての組織体系が確立され、中高連携の取組が円滑に行われている。	12.5	25.0	45.8	16.7	24	2.7	2.6
④ 本校の教育活動や生徒の様子等を、学校ホームページやClassroomなどでタイムリーに発信し、本校の魅力を伝えている。	0.0	0.0	33.3	66.7	24	3.7	3.1
⑤ タイムカード等による勤務時間の適正管理、管理職や産業医による面接体制が整っている。	0.0	25.0	41.7	33.3	24	3.1	3.1
⑥ Googleアプリを活用した情報共有により、業務効率化が図られている。	4.2	20.8	54.2	20.8	24	2.9	2.8
⑦ スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、部活動指導員等の専門的人材が積極的に活用されている。	0.0	12.5	41.7	45.8	24	3.3	3.3
⑧ 学校は、授業力向上のための教科等研修会に参加する機会を適切に提供している。	4.2	12.5	45.8	37.5	24	3.2	3.1
⑨ 私は、職員間の授業見学や生徒による授業評価等を通して、授業改善に取り組んでいる。	0.0	8.7	65.2	26.1	23	3.2	3.1
⑩ 私は、宅習時間調査の結果を、家庭学習や読書等の指導に活用している。	4.3	4.3	69.6	21.7	23	3.1	2.1
⑪ 私は、学年の段階に応じて、総合的な学習の時間や学活などを通して、生徒が自らの進路を考える取組を行っている。	0.0	9.1	59.1	31.8	22	3.2	3.1
⑫ 私は、進路に関する情報を生徒及び保護者に対し適切に提供している。	0.0	26.1	52.2	21.7	23	3.0	2.8
⑬ 職員の共通理解を図り、学校として統一した生徒指導が行われている。	8.3	20.8	45.8	25.0	24	2.9	2.8
⑭ 私は、日頃から服装の整美、時間厳守、挨拶を指導している。	0.0	4.2	50.0	45.8	24	3.4	3.2
⑮ 学校は、交通安全についての啓発活動を行っている。	0.0	4.2	54.2	41.7	24	3.4	3.2
⑯ 学校は、情報モラル教育を計画的に行っている。	8.3	8.3	45.8	37.5	24	3.1	3.1
⑰ 学校は、生徒及び職員の人権意識の高揚を図る取組を適切に行っている。	0.0	8.3	33.3	58.3	24	3.5	3.4
⑱ 生徒理解研修等を通して、支援を要する生徒の実態把握と共通理解が図られている。	0.0	8.3	25.0	66.7	24	3.6	3.4
⑲ 個別の教育支援計画及び指導計画をもとに、必要な支援を適切に行っている。	0.0	16.7	25.0	58.3	24	3.4	3.4
⑳ 学校では、命を大切にすることを育む教育を適切に行っている。	0.0	12.5	37.5	50.0	24	3.4	3.3
㉑ 学校でのさまざまな活動において、いじめを防止する取組や配慮がなされている。	0.0	8.3	37.5	54.2	24	3.5	3.2
㉒ 学校は、総合的な学習の時間等において、地域に目を向けた探究活動を推進している。	0.0	4.2	33.3	62.5	24	3.6	3.6
㉓ 学校では、防災に関する取組を計画的に行っている。	0.0	8.3	41.7	50.0	24	3.4	3.6



(%) (人)